

松山市過疎地有償運送 運営協議会（興居島）

『笑顔あふれる島をめざして』

事務局 松山市総合交通課

<過疎地有償運送とは>

道路運送法（第 78 条）では、原則として自家用車による有償運送を認めていませんが、タクシー等の公共交通機関によっては住民に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合において、特定非営利活動法人等が、実費の範囲内であり、かつ、営利とは認められない範囲の対価によって自家用車を用いた有償運送（過疎地有償運送等）を行うことを認めています。

過疎地有償運送が認められるためには、松山市過疎地有償運送運営協議会を開催し、過疎地有償運送の必要性や、運行管理体制等がある一定以上の条件を満たしているかどうか等について、十分に協議されることが必要です。

<公共交通機関によっては住民に対する十分な輸送サービスが確保されていないと認められる場合とは>

- タクシー等の営業所がない
- 毎日運行しているバス路線がない
- 毎日運行しているバスはあるが、便数が著しく少なく、さらに乗り換え等により目的地へ行くに当たり、はなはだ不便で現実的ではない場合など

<運送の区域は>

- 過疎地域・・・・・・・・・・・・・・・・旧中島町地域
- 島嶼部・・・・・・・・・・・・・・・・興居島、釣島、安居島
- 都市計画区域外及び市街化調整区域の内、運営協議会において認められた地域

1. 過疎地有償運送実施の背景について

興居島においては、島内唯一の移動手段として営業していた民間のタクシー事業者が、平成21年秋頃から運休状態となった。

その後、平成23年の秋頃から運行が再開されるも、平成24年9月には廃業となり、以後、島内の移動サービスがなくなり、公共交通の空白地域となった。

このような状況により、興居島各町連絡協議会や興居島地区社会福祉協議会等の関係者の皆様とともに、利便性が高く継続的に提供が可能な「交通サービス」の検討を重ねていく中で、島民であるボランティア運転手が島民を有償運送する「過疎地有償運送」の導入を検討していたところである。

2. 興居島の現状について

【地整等】

興居島は、松山市の北西に位置し、^{きゅうしゅん}急峻な地形のため平野部が少なく、集落は御手洗、泊、船越、鷺ヶ巣、北浦、由良、門田、馬磯の8つあり、集落はいずれも島の海岸線沿いの狭い平坦地に集積している。

気候は、瀬戸内海特有の温暖で雨が少なく日照時間の長い、柑橘栽培に適した気候条件を有している。



(株)ごこしま提供資料

【人口等】

興居島は、昭和 35 年頃に 5,000 人を超えていた人口が、平成 22 年には 1,300 人を切るまで減少している。また、高齢化率も約 55%であり、過疎化・高齢化が急速に進行していると認められる。

なお、平成 27 年 1 月現在の推計人口は約 1,100 人となっている。

人口の推移(国勢調査)

島名	S35年	S40年	S45年	S50年	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
興居島	5,213	4,739	3,899	3,490	3,134	2,835	2,350	2,104	1,820	1,479	1,279

人口構成(平成22年国勢調査)

		0～14歳	15～64歳	65歳以上
興居島	H12	92	869	759
	H17	64	668	747
	H22	59	506	714



小富士山夕景（興居島）

【海上交通】

興居島と本土を結ぶ興居島航路については、民間の航路事業者が由良と高浜をフェリー 14 便、泊と高浜をフェリー 14 便運航しており、島民の利用だけでなく、通勤、通学、観光客や特産品のミカンなど、生活必需品等の物資の輸送も行っており、生活航路として重要な役割を担っている。

【陸上交通】

興居島の移動手段については、民間のタクシー事業者が担っていたが、平成 24 年 9 月以降に廃業となり、島内の交通サービスがなくなったことから、高齢者などの交通弱者の移動手段確保が喫緊の課題となっている。

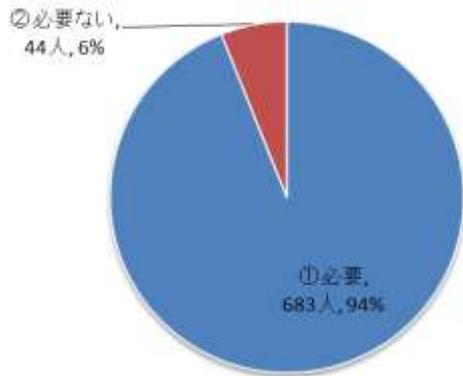
3. 興居島における交通サービスの必要性について（アンケートの実施）

興居島において交通サービスを導入検討するにあたり、その必要性や利用者の見込などを把握するため、20 歳以上の全島民を対象としたアンケートを実施した。

なお、アンケートは 799 人と大半の方から回答をいただき、島民の交通サービスの導入に関する関心の高さが伺える。

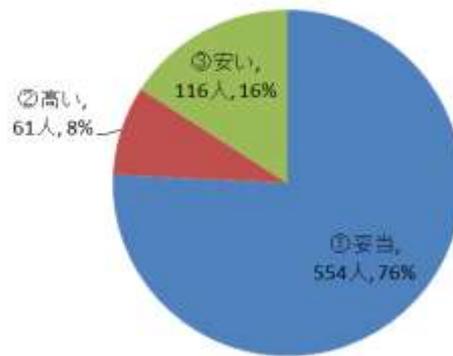
【アンケート結果集約】

【交通サービス導入の必要性】



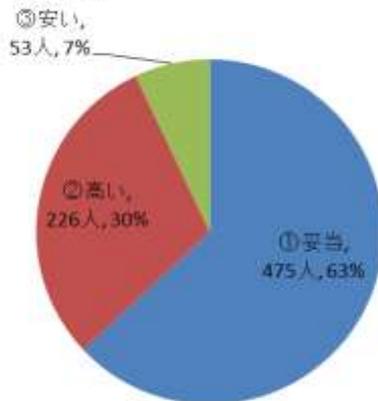
サンプル数N=727/799

会費月200円/世帯の妥当性



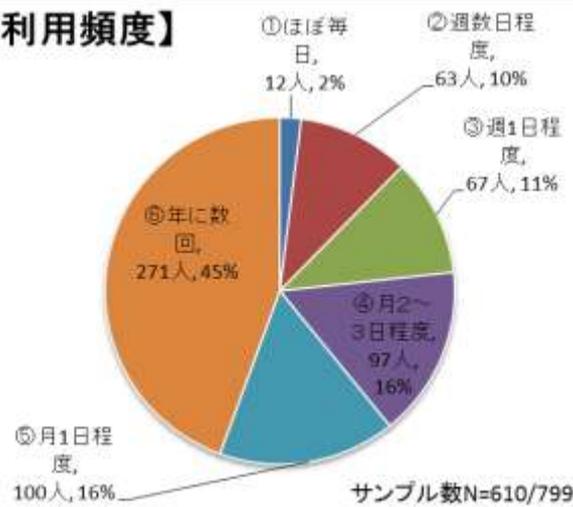
サンプル数N=731/799

【運賃設定】(1回500円)



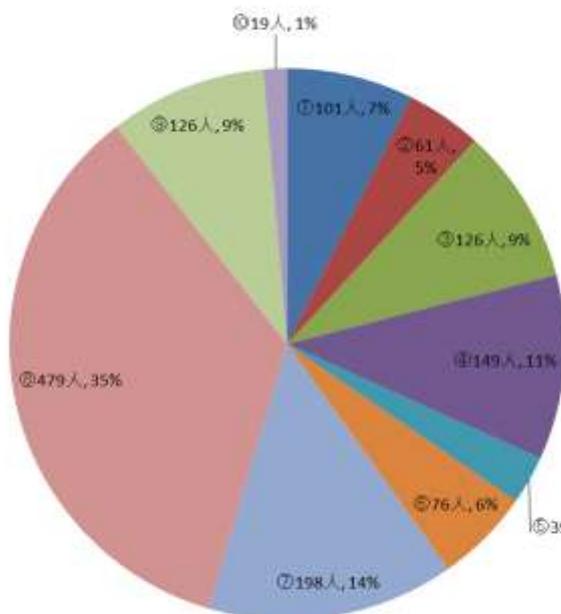
サンプル数N=754/799

【利用頻度】



サンプル数N=610/799

【現在の移動手段で思っていること】



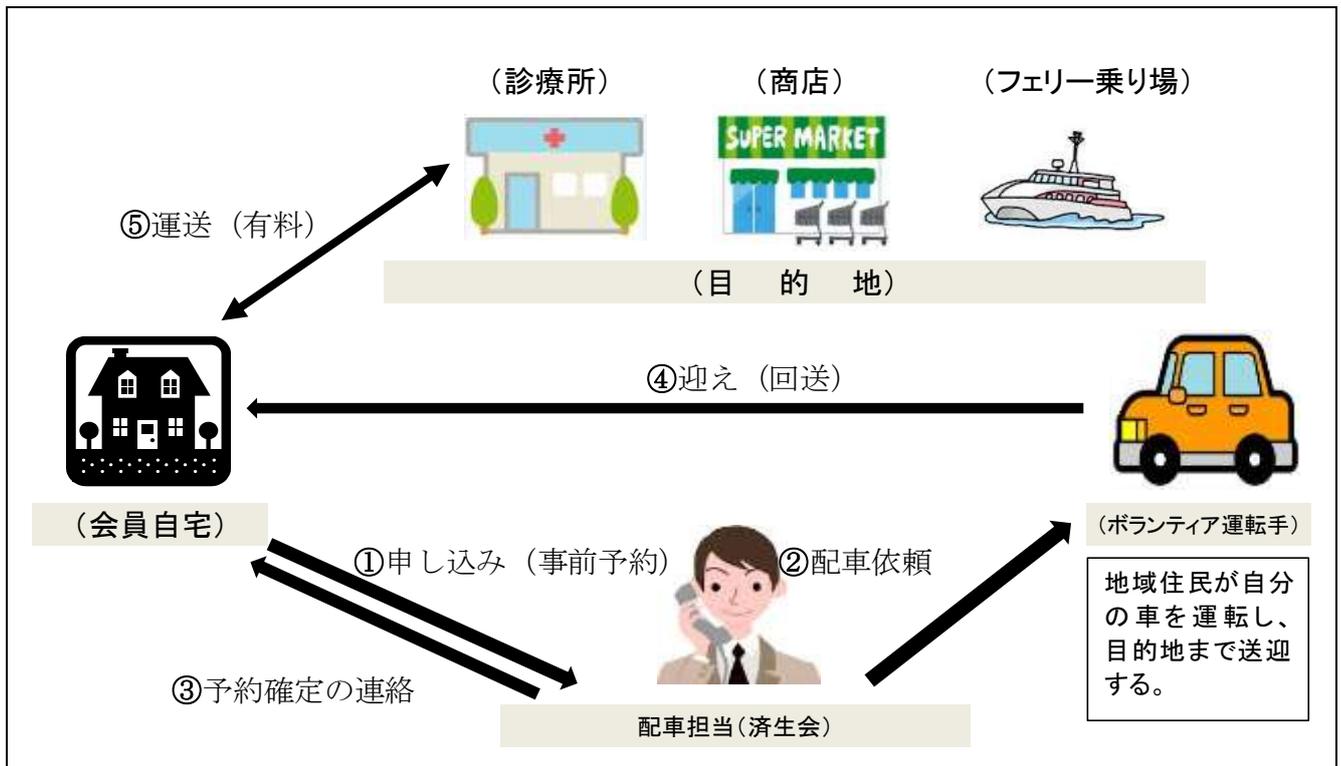
サンプル数N=1,374/799

- ①自分では移動手段が無く、家族の負担が増えている。
- ②自分では移動手段が無く、近所の方に頼んでいるため心苦しい。
- ③自分では移動手段が無く、手軽に利用できる移動手段が欲しいと思っている。
- ④頑張って自転車又は徒歩で移動しているが、将来の移動手段に不安を感じている。
- ⑤頼む人がいないので、外出する機会が少ない。
- ⑥移動手段のない家族がいるため、用事の際は自分が車を出している。
- ⑦移動手段のない家族のために、手軽に利用できる移動手段が欲しいと思っている。
- ⑧今は困っていないが、将来は困るかもしれない。
- ⑨特に困っていない。
- ⑩その他
- ⑪その他

4. 興居島における過疎地有償運送の申請について

興居島における過疎地有償運送導入の必要性や需要は把握できたものの、地区住民は高齢者が多く、各組織の役員も数年で交代するため、継続して安定した過疎地有償運送を実施するための運営主体の設置が大きな課題となった。そこで、興居島各町連絡協議会や興居島地区社会福祉協議会の地域の皆様により、過疎地有償運送の運営主体に島内に福祉施設のある「済生会支部愛媛県済生会」さまにお願いしたところ、快諾を頂いたことから、このたびの申請に至ったものである。

5. 興居島における過疎地有償運送のイメージ図



※会員及びボランティア運転手につきましては、現在島内で調整中のため、その部分を省略して済生会さまの説明となりますので、ご了承をお願いいたします。



恋人峠 (興居島)